

琵琶詩吟名匠録

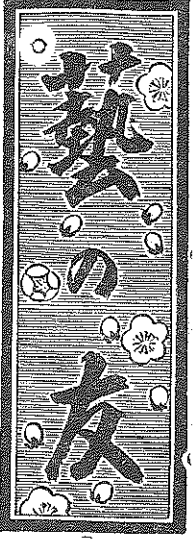
- 日本琵琶楽協会**
事務所 東京都港区西新橋一丁目
電話(一)七電 三七八九番
- 薩摩正絃会**
事務所 東京都港区西新橋一丁目
電話(一)七電 三七八九番
- 薩摩琵琶正絃会**
理事長 辻 靖剛
自宅 185 分府市東元町三丁目
事務所 港区西新橋一丁目
電話(一)七電 三七八九番
- 鶴派琵琶錦史会本部**
会主 鶴田 錦史
136 東京都江東区亀戸三丁目
電話(四)六電 四三二二番
- 大館派琵琶洲楓会本部**
家元 大館 洲楓
150 東京都渋谷区渋谷二丁目
電話(三)四電 四〇九一番
- 錦心流琵琶教授**
本部 松田 静水
145 東京都大田区南千束三丁目
電話(七)七電 七〇七〇番
- 一水会本部**
112 東京都文京区大塚五丁目
電話(四)四電 四六一番
- 小田田賞水**
112 東京都文京区大塚五丁目
電話(四)四電 四六一番
- 日本国風流詩吟**
宗家 雨宮 国風
横浜市中央区弥生町三丁目
電話(三)五電 三二五八番
- 前田秋声**
141 東京都品川区西五反田四丁目
電話(三)八電 八三三三番
- 友吉鶴心**
111 東京都台東区浅草二丁目
電話(四)四電 四二五一番
- 鶴派琵琶鶴心会**
会長 友吉 鶴心
111 東京都台東区浅草二丁目
電話(四)四電 四二五一番
- 鶴派琵琶鶴朋会教授所**
会長 石坂 鶴朋
332 東京都品川区大崎三丁目
電話(三)八電 三三〇三番
- 岳内山鶴崇**
岳内山 鶴崇
060 札幌市中央区大通西二丁目
電話(六)九電 九六〇〇番
- 錦心流琵琶教授**
本部 廣瀬 綴水
573 大阪府枚方市上馬場四丁目
電話(七)二電 七二〇三番
- 錦心流蓮水会**
会主 三浦 蓮水
662 西宮市羽衣町七丁目
電話(三)三電 三三〇三番
- 古水針谷錦古**
370-12 高崎市岩鼻町二丁目
電話(高)四電 四三〇〇番
- 錦心流大館派教授**
前田 田月
166 東京都杉並区成田東三丁目
電話(三)三電 三三三四番
- 桑名洲聖**
108 東京都港区白金三丁目
電話(三)七電 三七一七番
- 大館派琵琶詩吟**
洲聖 平井 洲誠
359 埼玉県所沢市日吉町三丁目
電話(三)七電 三七一七番
- 稲垣洲玲**
154 東京都世田谷区梅丘一丁目
電話(四)五電 四七五五番
- 松崎洲陵**
133 東京都江戸川区東小岩一丁目
電話(三)三電 三三五六番
- 大館派琵琶詩吟**
洲鳳 山田 洲鳳
160 東京都新宿区新宿一丁目
電話(三)七電 三三六六番
- 彼ノ矢洲友**
150 東京都渋谷区本町三丁目
電話(三)五電 三五五三番
- 中村洲心**
166 東京都杉並区高円寺南三丁目
電話(三)七電 三三六〇番
- 島田春水**
141 東京都品川区小山三丁目
電話(三)九電 三六一八番
- 四方田錦隆**
375 藤岡市古桜町二丁目
電話(三)七電 三三三七番
- 薩摩琵琶**
124 東京都葛飾区立石一丁目
電話(五)七電 五七三九番
- 遠藤鶴東**
280 千葉県市川市四丁目
電話(四)九電 四九〇一
- 須田誠舟**
104 東京都中央区銀座六丁目
電話(四)九電 四八五七番
- 赤心流鶴翁**
420 静岡県西草津三丁目
電話(三)五電 三三三七番
- 最上穂洲**
031 八戸市内九丁目
電話(二)八電 八七七五番
- 薩摩琵琶正絃会**
会長 浅野 晴風
164 東京都中野区中野三丁目
電話(三)八電 八九二二番
- 弘沢雨水**
113 東京都文京区西片三丁目
電話(三)八電 八九二二番
- 北堀省水**
951 新潟市西堀前通七番町
電話(二)二電 二三四七番
- 幹事長 戸谷曙水**
110 東京都台東区下谷三丁目
電話(三)一電 三一三五番
- 錦心流琵琶遠水会**
会長 山口 速水
116 東京都品川区西目黒三丁目
電話(三)九電 三九三三番
- 錦心流琵琶教授**
916 福井県鯖江市本町二丁目
電話(五)一電 五〇四四番
- 北陸琵琶同好会本部**
会長 田中 歴水
930 富山市太田口通一丁目
電話(二)一電 二一三三番
- 錦心流琵琶詩吟教授**
算水 田中 算水
920 金沢市天神町二丁目
電話(三)三電 三三三三番
- 奥村慧水**
456 名古屋市熱田区千代田町
電話(三)三電 三三三三番
- 加藤錦陽**
181 三鷹市井の頭三丁目
電話(三)三電 三三三三番
- 鎌倉琵琶**
香山会 會我 龍城
248 鎌倉市長谷一丁目
電話(三)七電 三三三三番
- 錦心流琵琶**
愛吟会 山田 幻水
237 横須賀市船越町一丁目
電話(三)六電 三三三三番
- 錦心流琵琶教授**
紅水会 平野 鉦水
249 逗子市松山三丁目
電話(三)六電 三三三三番
- 錦心流琵琶親誠会**
会長 石井 桑水
238 横須賀市公郷町二丁目
電話(三)六電 三三三三番
- 琵琶、国風流詩吟**
国想 高橋 肆水
233 横浜市南区大岡町三丁目
電話(三)三電 三三三三番

非売品

編集発行 鈴木普士

東京都練馬区豊玉北五ノ一 電話(九九)〇三三三番

友の芸社



琵琶特集 五月号

昭和四十八年五月一日発行

新作琵琶歌 不如此 曾我竜城氏作

運子の歌頭花の碑、万人齊しく推う不如帰、大文豪の筆になる不朽の名作不如帰。ひとく人の心打ち、紅涙自づ頻瀧らし、万感迫る思あり。不動が岩に巻き返す、女夫白波岸を噛み、水に映れる月影を、玉と砕きて妹背仲、浅き縁を咽び泣き、訴え叫ぶ如くなり。早く帰ってそれまでは、必ず生きて待ちますと、振る白絹に断腸の、悲しさ深くそそられて、別れ小舟の運子の海、風一入と身にぞ必む。春の伊香保の蔵狩り、楽しき夢も伸びやらず、うつつと過ぎて如か、病をかこつ床の上、泣いて血を吐くその声は、夫武男を恋慕う、むなしき空のほととぎす、薄き運命の果敢なけれ。任務終りて松島や、急ぐ青山あじけなく、浪子の墓前にたづめる、武男の胸は露しぐれ、何を語るか哀れなり。

(註)この歌は運子文化協会主催芦花碑二十五年記念の作で、昭和三十七年の作詩である。

研精会記念大会 満員の大人気

過ぐる世界大戦に敗戦民の苦痛をイヤという程鬱めさせられ、心身に動乱の終戦直後に、雄々しく誕生した琵琶修明会は、同人中に数人の他業者を送って研精会と改名し創立二十五周年の記念の日を迎え三月二十四日午後二時より日本橋第一証券ホールにて記念公演を催された。同人七師は錦、筑前、錦心、正派の一流名手揃いの上此の度は二十五年の喜びとあって表装のみでなく裏芸(隠し芸)をも披露しようとするの大胆さを見せる意気の企画で、実質に京東三美会々々長田中鵬水師と吹奏水女史を招き、前奏に水藤、藤巻、都の三同人の門下より十余名の新鋭の花を添える企画が愛好者の興味を呼んでか開演前より好評の入場者で、三時半頃には満員で空席なしの盛況であった。

開演は定刻二時に都錦師の絃で、高久、齊藤、大和里三女性の歌「青葉の笛」で幕を開け、次は藤巻旭鴻師の正絃、吾妻江風師の

小絃、藤巻旭陽、旭彰、旭鵬三兄弟の歌「綱箱」。都師の絃で阿内、大場、高久の三男子会員の「扇の的」。前奏の最後は錦藤各人の令息水藤五郎氏の修善寺物語「桂」の独奏で、前三曲共合奏で新人の花形の熱演であったに比し、水藤五郎氏の独奏は実に出藍の彩色を放つ堂々たる巧演で人気を凌いだのはさすがである。

ご挨拶は水藤、藤巻、創立者の一人である輝立枝さん等を中心に同人会員が舞台に勢揃いし、水藤錦藤さんが同会創立よりの経過と会員の變動を述べ多年の支援を感謝し、今日記念公演を迎えた喜びを表して挨拶は終り。意々同人本番の演奏に移る。

子よさが聴者を感動させた。田中師のセリフは且那芸としては優れているが、専門家としてならまだ研究の余地が考察されよう。兎に角大拍手を沸したの成功では、音調の妙と撥刺きの巧妙さは当日の秀逸である。歌は余りにも緊張過ぎて余韻を減じたかか感じられたのは如何に、弘法にも筆の誤りと言うが、水藤錦藤師の「お市の方」は流石に名人芸の一語で尽きよう。同人の最後は吾妻江風師の「大森彦七」、この曲の大森彦七は歌舞伎で先代松本幸四郎の得意芸であり数回観劇している。吾妻師の歌詞は劇中の大森彦七と千早娘のセリフそのままの箇所が多く、興味深く劇的分気味を味わってくれたので嬉しかった。

特別番組のウラ芸の披露は、仲川秀邦さんの「黒田節」舞踊入り三味線と琵琶伴奏。吾妻さんの「小唄」。輝藤司さんの「磯節」。水藤さんの「柳の雨」。臨時飛入り藤波桜華さん、同人の古田、藤巻、都の方々の隠し芸が展げられ大向の声援者を喜ばせ盛況裡に七時近く終わった。

決戦大会の巧調 満員の愛好沸く

財団法人日本吟詠詩舞振興会が今年から初企画された全国少壮吟詠家審査コンクール決戦第一回大会が、笹川良一会長が大会々々長となり、副会長に佐々木孝吾、藤井

芳洲、渡辺岳神三巨匠。佐々木孝吾審査委員長の下に審査委員藤井渡辺、諸富、鈴木、牛尾、黒川、菅原、阿久津、深田、牧、繪垣、大島、大野、原、船川の諸氏。監査委員に笹川鎮江師が就任。南北九州鹿尾島、北は北海道と全国各地に行われた大会出場者予選会をパスした優良選手百二十名のコンクール決戦大会が三月二十一日(春分の日)午前十時より東京虎の門久保講堂で厳肅の裡に執行された。

出吟受審者は一番より登場し、舞台下各席最前列に並ぶ審査委員長以下各委員、笹川大会々々長以下大会首脳役員、監査と審査を受けられ、受審六十番まで一旦休憩屋敷となり、午後一時過ぎより再開二時半に終了。笹川会長の御挨拶のあと審査講評、優秀成績者二十名の氏名発表、賞状賞品の授与で表彰が行われ予定通り三時閉会となったが、数百名収容の会場は満員の盛況であり、競吟中は会場水を打った静けさで息詰まる様な雰囲気緊張感であった。

入賞者は次の通り。

金井常幸(群馬)、佐々木實二(京都)、渡辺修正(埼玉)、矢間道子(奈良)、長岡政秋(東京)、横田博(埼玉)、飯森徳太郎(長野)、山本麻子(大阪)、本村正子(鹿児島)、長屋幸吉(大阪)、石井武士(静岡)、秋山昌徳(東京)、玉村暢郎(京都)、尾島忠男(広島)、井口直弘(福岡)、三田和氣(愛媛)、箕輪武人(大阪)、高橋忠(兵庫)、長谷本延藤(東京)、伊藤ひさ子(茨城)。



故橋会宗家旭宗師 七回忌追善 全国大会記念

筑前琵琶日本橋会では、橋会初代宗家故橋旭宗師七回忌追善を兼ね、全国橋会大演奏会を三月四日東京有楽町の第一生命ホールにて開催し、昼夜殆んど満員の盛況で全国代表名流の秀技大好評を受けた。写真は当日の記念である。(前列) 向って右二人目より丸山旭壯、階場旭竜、志水旭城、大迫旭山、堀田旭甲、山元旭錦、二世橋旭宗、旭宗氏夫人、山崎旭翠、松本旭柳、岩見旭香、板谷旭昌、渡島旭鶴、小川旭典、夏秋旭芳(二列) 右より六人目までが彦根林田旭城、友谷鈴木旭芳、板谷旭城、久徳旭蘭、菊地旭蘭、丹生谷旭春、小野旭枝、林田旭城、山田旭芳、佐伯旭瑛(三列) 右より小川旭澄、本村旭香、一人おいて島田旭千、寺尾旭吉、三栖旭録、北村旭良、松村旭奎、石河旭豊、押川旭葉、井坂旭良、矢吹旭美津、酒井旭華、一人おいて花方旭路、糸日谷旭旭(四列) 右より城戸旭濤、金子旭昭、外出演と関係者

江藤新平

「英傑佐賀の新平は、十六歳にて群を抜き、母の教へに芽生えつつ、向学心にもえ立ち、佐賀藩弘道館に入学す」。明敏なる海藩からは、強き束縛うけつつも、薩摩、長州、土佐藩の、華々しきの蔭に立ち、藩的世界に生きんとす。吾祖威名久熟聞、刀槍千隊三軍掃、雲蒸霧集何日知、誓微軀以勲國策」。明治元年新平は、参謀となりて上京し、三権分立唱えつつ、立憲政治を主張して、三条、大久保、木戸、岩倉、大隈、西郷等と國政を、統一せんと計りしも、征韓論に破れたる、西郷隆盛と共に、参謀を辭して去りにけり」。明治六年にて旧佐賀藩の士族達、征韓党を結成し、隊長として新平は、心ならずも同意せり。愛国党も加われば、佐賀県令岩村は、肥後鎮台兵を動員し、佐賀城目指して進撃す。怒り心頭に発したる、千有余の藩士らは、父祖伝来の名刀を、抜き連ねつつ立ち向う。何かは以ってたまるべき鎮台兵は退却す、大命忽ち大久保に、下れば歩兵二大隊、砲兵隊と合流し、田代口より進軍す。軍艦長崎伊万里より、陸海軍の精銳が、打出す陣は雨散れ、衆寡もとり敵せねど、薩摩武士の真髓を見せんと如何でおくべきと、打ちつうたれつ若者が、阿修羅となりて戦へど、一旬をいでず降伏す。薩摩藩兵の揺蕩期、母を頼りに勉強し、すぐれし知性と強き意志、苦難の道をのりこえて、参謀となりし新平も、人の心のむなしさに頼みの綱も切れ果て、賊徒の汚名身に受けぬ」。この時すでに新平

邦楽鑑賞会で 三界輪転を聴く

東京千代田区幸町の国立劇場小劇場に於て第二十回邦楽公演が三月十六日から十八日まで三日間に亘り邦楽鑑賞会として催された。これは明治、大正から現代への邦楽百年の歩みを探った長唄(監修吉川英史氏)三曲と現代の曲(監修古川英史氏)、新内(監修町田佳声氏)の選んだ代表的なもので、此の内で十七日夜上演された三曲と現代の曲を拝聴した。最初は箏曲で「時鳥の曲」で米川文字さん外二十名に尺八を加えた華やかな大舞台の合奏であり、二番目は三代目山勢松韻作曲「花の露」で第三面に三絃一人の四人舞台。次が幾山檢校作曲「萩の

露」。尺八の名人横山勝也師構成による即興演奏「三界輪転」で、出演は尺八横山勝也、琵琶鶴田錦史、小鼓藤倉昌悦、十七絃宮下伸の四師の題名通り即興演奏に大いに興味を持って傍聴した。この曲は昨年十月三十日に横山勝也尺八リサイタルで文部省芸術祭大賞を受賞された審査の対象となった優秀作と聞いたが、実演を耳にするのははじめてである。琵琶の鶴田師と尺八の横山師との合奏出演は、数年前の日生ホールで武満徹先生作曲のエクソプス上演以来でその後の渡米公演でノベンストップスその他の曲で外国公演毎に名コンビで全世界に名声を博している。兩師は毎年二、三回の海外出演でその都度絶賛の的となつて成果を挙げている。鼓の藤倉、十七絃の宮下兩師との四者演奏もはじめて聴くが、四師共々卓越せる技能家であり、特色の牙音を出す魅力的な芸風に感銘した。この曲が出演四者の即興音楽というが、よく呼吸の合った点は流石で、鶴田師の語った「いろは歌」と、微妙音、撥刺きに何んとも言えぬ余韻を感ぜさせられたのが印象である。(誓)

(鶴田師)

汲五書道展賑う

東京台東区谷中の書家矢島大園師指導の汲五書道展が、三月三十日より四月二日まで浅草の台東区民会館で催され四十余名の出品に観覧者押しかけ賑った。琵琶師都錦穂さんが「松石」の号で美事な筆力を示す出品が見受けられた。

名匠浅野晴風師 薩摩琵琶独演会

五月八日夜新宿安田ホールにて

東京四絃界に於ける物語琵琶の權威者で、薩摩両道の専門指導者として名声高い浅野晴風師は、六十八歳の誕生日を機会に戦後始めての琵琶独演会を五月八日夜六時より新宿西口の安田生命ホールに於て開催される。上演曲は琵琶行の邦訳「尋陽江」を前席に、中席が物語琵琶「安寿と厨子王」、後



(浅野晴風師)

席が新作「設楽ヶ原」の三曲である。設楽ヶ原は武田と織田、徳川の血戦を題材したもので得意の三曲を一時上演は空前の事である。当日前席として門下の若林晴凌、山下晴楓兩氏と絃友望月望江名匠掛合の「教盛」と門琵琶の合奏が上演されると。入場料金千円。

加藤錦陽師の 春の琵琶演奏会

五月二十日三鷹社会教育会館で

東京三鷹市の邦楽芸能界の名物男と人気の高い協会役員の加藤錦



(加藤錦陽師)

陽師が、十数年間に亘り市民の慰安と情操教化のために毎年一回乃至二回宛開催されて来た国民思想の伝統芸能琵琶演奏会は、今年も来る五月二十日正午より三鷹市社会教育会館に於て催される。出演名手は浅野晴風、若水桜松、前田洲月、新部桜水、広瀬翠紅と薩摩各派の一流大家に晴風一門の山下晴楓、若林晴凌、中村松声の三傑、会主加藤師を首脳に村木桜

柳、藤波桜華、大関英子、宮崎洲香、青木晴城の中堅人気者を揃えた陣容で当日の競演こそよき聴物で愛好者を満足させるであろう。出演者と曲目は次の通り。
白虎隊 吳宛軒 月下の陣、竹内青寿 桜枝 佐藤青苑 城山 本橋錦風 夢 坂入清峰 重寛 原島晴洲 影義隊 青木晴城 劍舞 吟加藤きよ子、劍士加藤修勇 小野訓導、宮崎洲香 羽衣、大関英子 大高源吾 藤波桜華 井伊大老 村木桜柳 本館寺 会主加藤錦陽 詩吟 鉢の木 中村松声 吉野落 若林晴凌 道時寺 広瀬翠紅 坂崎出羽守 山下晴楓 曲垣平九郎 新部桜水 扇の的 前田洲月 新編組 若水桜松 楠塚、浅野晴風。

五、六十名様までの 舞台つき和室 貸ホール

小唄、民謡、琵琶 詩吟、和風芸能 講習、小集合等 (短時間でも御利用可)
夜間一時、〇〇〇円
夜二時、一、三〇〇円
平日午前十時より夜九時迄
平日一、〇〇〇円
土、日、祭一、五〇〇円
冷暖房完備、マイク、レコーダー、ピアノ、湯茶、宴会の設備 完備
新宿区新宿一ノ四ノ九 山田洲鳳 電話七三六六番 地下鉄は新宿御苑前駅(下車三分)

電話番号変更のお知らせ

自宅の電話番号が三月中旬より左記の通り変りましたのでお知らせ致します。
電話(奥) (73) 一二二〇番
平野鉦水
逓子市桜山三ノ四ノ五三

若宮旭登さんが 東京で初主催の 名流琵琶演奏会

五月二十日正午より高円寺会館

筑前琵琶の異色講談琵琶関西の權威である水也田流の出身から橘流に転じ、各人松岡旭師に就て研修し京阪神地域の名星と謳われる若宮旭登女師は、数年前よりその芸風を東京に延ばし旭会の名花と人気を呼びつつあるが、若宮さんは今回恩師松岡先生並に同門の本本旭風東大阪旭会長、高千穂旭楓、伊藤旭揚西名秀花、水也田流の美登里進水師並に関西に著名の橋本旭司氏他西三名を招き、東京旭会の巨匠原島旭魁、吉田旭明師外と、薩摩の鈴木流泉名人、水藤五郎若手のホープ等の協賛で来る五月二十日正午より杉並区高円寺の高円寺会館に於て名流琵琶演奏会を初主催される。この会の特徴は旭会系関西派の代表的大家と、講談びわとの芸風の特長に興味があり、錦心流と錦びわとの対象も興を深めるもので愛好者の関心を呼ぶであろう。出演者と曲目は秋風故郷山 野瀬綾子 將軍悲歌 安田旭宮 若き教盛 長岡旭玲 山吹の夢 樋口旭聰 新撰組 高千穂旭楓 羅生門 戸倉旭嶺 堅田落 岡田旭連 教盛 水藤五郎 綱師(合奏) 吉田旭明 田中旭公、春日井旭桂 田盛 田中旭公、大西進明 坂崎出羽守 松岡旭師 京の四

東京旭会主催で 三世旭翁師追悼 六月五日に行う

筑前琵琶旭会三世宗家橋旭翁師逝いて早くも三年目を迎えた。東京旭会では来る六月五日に九段下の日刊工業新聞社ホールに於て故三世橋旭翁宗家の追悼演奏会を開くべく準備を進めている。出演者は吉田旭明、藤巻旭鴻、押田旭翁、大津旭紅、原田旭柳、原旭潮、原島旭魁、田中旭千栄、仲川旭明、宮川旭花都、安倍旭幹、野田旭榮、峯旭孝、宮武旭豊、藤巻旭彰、谷口旭香、岡田旭連の東京旭会の首脳と中堅精鋭連に、地方よりは小倉の河野旭保、神戸の柴田旭堂、樋口旭総の三名流が協賛出場されて二十三曲が上演される予定である。

清吟会慰安旅行

東京実業界に人格の名士と信望厚い岩田錦星師を会長とする琵琶清吟会は、毎年会員の親睦と慰安を目的として一泊旅行を實行して来られたが、春の旅行は四月十一日温泉郷湯ヶ原の清光園を選定し同日午前十時三十分東京駅集合で出発した。詳細は次号へ。

水藤翁の誕生日

終日慶びで賑う

桜花満開の四月八日、釈尊降誕日花祭り、全国仏教徒が心から祝う慶びを、双層に荷う同じ誕生日の水藤翁、水藤枝水師。今年七十八回目、宝壽いよいよ輝き健康そのまゝのこの日の水藤家には朝から祝電が都内の田辺、松田、大阪の山崎、伊東の入谷と琵琶代表の各名士から届けられ、午後からお祝客が訪ずれ、輝夫人、古田、中村、金森、都、仲川、西山、磯部、芸の友社鈴木、友吉の諸名士が真心込めて長寿を祝福され賑ったのは目出度い。

鶴田錦史師の

英、仏公演は五月

世界音楽壇の最高峰に立つ名匠鶴田錦史師の二月の香港初公演は極めて成功したが、師は英、仏両国での公演が五月に行われる。本年の第一回渡欧が近く実現される。本年の第二回目の欧州公演は今秋九月に決定している。

一水会富山支部

春の琵琶演奏会

五月三日に催す

富山市の名望家で田中金庫会社社長長田中重次(歴水)氏が支部長である錦心流一水会富山支部主催

の恒例春の琵琶大会は、五月三日午前十時より同市山王町日枝神社会館に於て催される。出演は田中支部長、田中愛水夫妻を始め支部員、東京本部より小山田賞水会長と秋瀧水副会長が招待され特別出演される。

故稲葉葵水師

追悼琵琶大会

各地名手が出演

名古屋に於ける戦後の琵琶界興衰の興隆を握っている実力者として評された尾州葵会々々、中部琵琶連盟理事長、一水会名古屋支部長の稲葉葵水師が昨晩夏逝去されて同市フナヅを憂愁の深淵に陥れたが、稲葉師が多年に亘り琵琶の復興進路に寄与された偉大な功績は永遠に不滅で輝くであろう。一水会名古屋支部長菅沼響水師始め支部員一致で故師の追悼琵琶大会を五月二十日午後二時より大須の中小企業福祉会館に於て支部春の大会を兼ねて挙行される。

京北協春会賑う

東京四絃界の異彩と定評ある千葉山師理事長の京北琵琶協会の五十周年春季公演は、桜咲く四月一日夕五時半より池袋の豊島区民センター六階の文化ホールにて行わ

れた。初夏を思わす快晴の二十余度の気温で桜花は三分咲きて人出を呼ぶ。演奏の先陣は長老出口石水翁の「坂本竜馬」で、近年にない活気ある好調振り初陣の手柄で拍手を沸かす。二陣は詩吟で藤後岳崎、磯山岳崎。次が押谷若水(井伊大老)。吟詠の瀬野岳崎、磯部遊風、佐々木恵風、白沢奏風の男女名手連の順で大家を喜ばせる。橋本草水氏の水鏡川中島に老練の研を示し拍手を浴び、吟の東野米風、磯崎岳崎、井越光陽氏等の競吟につづいて若き琵琶の大家で輝水会総務部錦師師の「湖水乗切」の熟巧演で満場を酔わしめた。若柳吉光さんの日本舞踊テープの歌につれて二題が上演され、最後が千葉山師の「巡礼お鶴」の熱演で好調裡に八時半終了、戸谷総務と千葉理事長の挨拶あつて散会となつたが琵琶愛好者で盛んな声援で賑った。

田中、矢吹師歓迎

京都三美会々々長田中錦水師と矢吹華水師は、東京の琵琶研精会創立二十五周年記念大会へ特別出演のため三月二十四日午後八時半東京駅清超特急で上京され、記念大会へ出演後鈴木流泉師の越谷市の自宅へ迎えられて一泊、翌二十五日新宿の淵鳳会館で催した日琵琶研興会の歓迎会へ特別出演し、更に夕五時半の松村の招待で歌舞伎座の観劇に臨み、同夜は松村さん宅へ一泊され二十六日帰京された。

琵琶と詩吟名手

ラジオ放送好評

三月十三日NHKラジオ第二の邦楽演奏会(午後二時)で、半田鶴水さんの琵琶「白虎歌」、引續き本村錦香さんの詩吟「花月吟」、伴奏琴中田園子。小川錦隆さんの「江南の春」伴奏琴中田園子。林鳳後氏の吟「山中の月」伴奏尺八船川利夫、生駒氏吟「春望」等が放送されたが、半田さんの琵琶と本村、小川両女性の吟が聴者に深い感動を与え好評であった。

山元錦城宗家と

錦城流師範吹込

東芝レコードの

「述懐」が発売さる

現代吟詠界女流の司権者で錦城流宗家である山元錦城師と、同流一門の高級幹部である師範級の大家七名が東芝レコードへ述懐外十一題の吟詠を吹込んだのが完成して発売されている。吹込んだ師範名手は本村錦香、金子城昭、城戸城海、井口城勝、鈴木城真、林田

長野計器製作所

東京営業所移転

東京の錦心流琵琶界を一時威圧した異色名手溝呂木錦風氏が社長である長野計器製作所は、業務の発展につれ社屋が狭くなり大田区東馬込一丁目三〇番四号へ社屋新築が完成し、五月一日より新社屋で営業される。新社屋は六階建。

青山旭光女史逝去

東京筑前琵琶界の花形名手で、旭会々員であり紅会同人として近年英才を高評されつづつた青山旭光さんは、二月下旬健康を害し東京世田谷区三宿の三宿病院へ入院治療中に心臓疾患を起し三月十八日夜八時頃遂に永眠されしとは惜しき限りだ。享年六十四歳。青山さんは戦後満州より引揚者であるが、明るく温順な貞婦で情味豊かな社交の花形であった。葬儀は埼玉原松原団地の葬場で行われた。茲に敬悼し御冥福を祈る。

浅野晴風独演会

尋陽江。安寿と厨子王。

日時 五月八日(火)午後六時開演
会場 新宿西口 安田生命ホール
曲目 新作設楽ケ原。入場料一、〇〇〇円

新鋭組意気衝天の

旭鴻師春の公演

琵琶と幻影で綴つた義経の一生

筑前琵琶旭会系の巨匠であり実力者である東京の藤巻旭鴻師の家庭は、夫人旭星女史を始め令息の旭陽、智恵子さんと一家を挙げて琵琶愛好同人で有名。その御大旭鴻師は日本旭会本部の役員として重要な地位にあるのを始め、古くから東京旭会の幹部であり、教師として東京を本拠に關西、北陸、九州各地に活躍され、数多くの門下生を指導し、現代屈指の各大家と敬愛され人望を双層に荷っている。師は令息達にも指導者の心構えを体得させんの親心から旭鴻会春の演奏会を企画し、既報の如く三月二十九日十一時半より日本橋の第一証券ホールにて長男旭陽氏の責任主催で開いた。出演者は岳父旭鴻師を始め一家一門の新鋭と新人達に、遠く鹿嶋島、富山大阪より逸才組も参加し、東京旭会の長老大津旭紅名匠とその一門の花形、橋会の社交家原田旭鳳氏、今売出しの人気青年で未来の大家を約束される錦琵琶宗家の曹子水藤五郎氏など協賛して新試案番組を作製し、筑前琵琶とスタジオで綴る「源義経の一生」を十曲組んで上演し、茶道曲、舞踊曲、新琵琶をも上演するなど愛好者の興味と関心を呼ぶことに苦心されてきた。それだけに各出演者も張り切つて懸命に舞台を努め

られたので一般大衆を娯しませ盛んな声援も受けていた。

演奏は定刻「五絃段」合奏を序幕に、桃太郎、良寛さん、一茶と少年向きの愛らしい曲が続いて上演され、古川旭玲さんの「月に偲ぶ」が終ると水藤五郎氏の解説で、藤巻旭陽氏構成の琵琶とスタジオで綴る「源義経の一生」が開幕。琵琶演奏会でスライド利用は極めて稀で興味をひいた。内容は「伏見の吹雪」で常盤御前が、今若、乙若、牛若の三少年を抱え雪中に悩む場面から始まり、五条橋、忠度、若き致盛、邦須与市、壇の浦、大物の浦、舞扇鶴ヶ岡、安宅の関、最後が衣川で義経、弁慶の討死まで琵琶と幻影で表示し、不運の名將義経の最後を偲ばせる哀史である。藤巻旭陽「義士の本懐」、竹本旭将「坂本竜馬」、舞扇曲は松沢旭晶「お蝶夫人」、林田旭史「吉野山懐古」茶道曲は藤巻旭星夫人「松風の曲」が当日興味曲で、原田旭鳳、吉田旭泉両氏が上下を語り分けた「隅田川」、旭陽氏の「二〇三高地」の熱演について錦びわの水藤五郎氏の修善寺物語「桂」の巧妙が異彩を放つ。大津旭紅女師の「玉藻の前」、藤巻旭鴻師の「対玉丸」この二曲は、定評ある旭会の元老であり各特徴ある巧者で円熟芸の妙味充分。終始活気に充ちた雰囲気であった。

日本琵琶振興会

三月例会賑う

東京藤岡四絃の大家鈴木流泉師が会長の日本琵琶振興会の三月例

アメリカ力通信

南加琵琶楽同好会

総会並に親睦会

南カリフォルニア琵琶楽同好会は総会と新年親睦会を一月二十八日午後一時より三光樓(支那料亭)に於て開催、上野錦慶会長の司会のもとに新年の挨拶あり引續きの庶務報告、松本一満幹事が健康上の理由で引退を表明。これに対し一同は多年に亘る氏の功績に記念品を贈呈して謝意を表す。柚木旭瑞役員より会計報告あり之を承認す。新年度役員選挙に移り、上野会長の再選は万場一致で可決。副会長に川島大電氏、会計幹事に柚木旭瑞、竹垣岳巴南両氏の留任。

福岡旭会主催

筑前琵琶鑑賞会

筑前博多人が誇る郷土芸能の精華筑前琵琶は、永い伝統を経て邦楽中精神音楽の真髄と謳われ名声再認識されるに至った。筑琵琶の本場福岡旭会では、県と市の教育委員会、文化連盟の後援を得、三月十一日正午より明治生命ホールにて第五回筑前琵琶鑑賞会を催した。出演は同会会首中村旭園、樋口旭清師を始め井上旭泰、熊手旭震、松田旭恵、吉田旭光諸会員他と、東京より大家の藤巻旭鴻師が来福され、協賛として特別出演され錦上に花を添えた。当日の上演曲は新曲「七福神」を序曲にお蝶夫人、吉野山懐古、浦島太郎夜討曾我、義士の本懐、本能寺、愁風大學門、山吹の夢、玉藻の前、菅公、華道華の恵み、那須与市、千姫、大橋公、嘸無情、対玉丸、

山口速水師が放送

重田綿店増改築

錦心流一水会本部理事山口速水師は、四月十二日午後五時NHK FMで「羅生門」を放送されたが好評。但し従来の第二と異り聴取上に不便がありNHKへ対しての不満の声もあった。

重田綿店増改築

京北琵琶協会の千葉山師理事長の高弟で同協会の中核新鋭である重田玉穂氏は、練馬区高野台で布日製綿増改築の上棟式を行った。重田師は三月十日に皆伝披露会を催した信用厚い青年名手である。

山崎紅水師の

紅水会春期研修会

札幌四絃界の巨匠山崎紅水師指導の錦心流琵琶紅水会の春期研修会は、三月二十五日午後一時より南六条西七丁目目黒命寺で開き、会員木村、沢田、大友、草薙、井上、木下、室谷諸氏の順演に続いて来賓の小野春水、塩谷流氷、川岳楓、森崎水、若林風水各氏が熱演され、更に紅水会小幡雄水、檜森敏水、加藤夕水、天野徳水、渡辺飛水諸氏が妙技を揮い、最後に山崎会長が「舟弁慶」の熟巧演で来聴者感動させ賑った。

横浜の采崎氏より
絃友の皆様へ報告

昨年十二月十四日夜横浜の水会支部議事録... 水会支部議事録... 入院後死去... 運転の採崎氏... 採崎氏の遺言... 採崎氏の遺言... 採崎氏の遺言...

横須賀文化協会の新春会で琵琶大当

横須賀文化協会では去る一月十日文化会館大ホールに於て芸能各界名手出演の新年大会を主催し五千余名の来場者で盛況を極めたが、当日上演された諸曲のうち琵琶「蓬萊山」の合奏では、錦心流の各名手と作曲家山田如水師の作譜の巧妙が聴者を喜ばせた。

鉦水会三月例会

湘南琵琶界の人氣王で選手和会々長、一水会連葉支部長である平野鉦水師は、各案共に錦心流の重鎮であるが、去る二月から開始された鉦水一門の研究会の第二回例会は、三月十一日午後逗子市桜山会館で催され、平野師と石渡勝水、三門葉水、川崎鉦、加藤鉦泉、佐々木鉦邦、田中鉦、相談役の曾我竜城諸氏並に会員等出席して

琵琶詩吟名匠録

- 錦琵琶本部 宗家 水藤 錦 稜 176 東京都練馬区旭町三ノ三ノ四 電話(981)四四九八番
- 176 東京都練馬区旭町三ノ三ノ四 電話(981)四四九八番
- 176 東京都練馬区旭町三ノ三ノ四 電話(981)四四九八番
- 176 東京都練馬区旭町三ノ三ノ四 電話(981)四四九八番

筑前琵琶橋会師範

- 461 名古屋市中区東外堀町二ノ六ノ元 電話(52)五二六〇番
- 461 名古屋市中区東外堀町二ノ六ノ元 電話(52)五二六〇番
- 461 名古屋市中区東外堀町二ノ六ノ元 電話(52)五二六〇番

筑前琵琶橋会事務局

- 444 岡崎市福寿町七七(堀田方) 電話(52)四四七五番
- 444 岡崎市福寿町七七(堀田方) 電話(52)四四七五番
- 444 岡崎市福寿町七七(堀田方) 電話(52)四四七五番

錦心流琵琶

- 330 大宮市桜木町四ノ三ノ一八 電話(26)九〇五八番
- 330 大宮市桜木町四ノ三ノ一八 電話(26)九〇五八番
- 330 大宮市桜木町四ノ三ノ一八 電話(26)九〇五八番

筑前琵琶橋会師範

- 680 鳥取市片原四ノ二七 電話(852)二二八七番
- 680 鳥取市片原四ノ二七 電話(852)二二八七番
- 680 鳥取市片原四ノ二七 電話(852)二二八七番

愛媛琵琶連盟の春季演奏大会 日本琵琶楽協会主催の昭和四十七年度琵琶コンクールに四國松山より上京出演され、秀位賞を受けられた薩調派の長老大家佐藤亮絃師が会長、愛媛琵琶連盟には、筑前派の名手森脇旭、升久、旭好、毎年春秋の好季に演奏会を催して国民伝統精神の昂揚と情操教化に活躍されつつあるが、同連盟の演奏大会は四月二十一日頃に開催の計画であると。(三月下旬通信)

平野家電話番変更 一水会連葉支部長の選手市桜山三丁目平野鉦水師宅の電話は三月中旬より左の通り変更された。電話(0)四六八(73)一一二〇番。

琵琶詩吟名匠録 筑前琵琶橋会師範 466 名古屋市中区東外堀町二ノ六ノ元 電話(52)九六六六番

精密部品加工業(腕時計部品) 株式会社 平井精密工業 本社 所沢市日吉町17-13 電話 0429(22)3175 工場 所沢市荒幡218 電話 0429(22)3660 社長 平井 円吉(洲誠)

石田琵琶店 創業明治十一年 最古の傳統と最高の技術 薩摩琵琶 専門製作 附属品一式 愛吟集 各定価 400円 送料 55円

戸谷染料商店 染料・染色助剤・化学工業薬品 合成接着剤・界面活性剤・製造卸商 株式会社 戸谷染料商店 社長 戸谷 曙水

荒井屋 酒の新鮮魚 大衆的実質酒場 友吉健ちゃん 東京浅草雷門横 電話(34)四二五一番